

「生き物の姿をくわしくとらえるための観察カード」 を作ろう

理科や生活科などで野外に行き、昆虫などのスケッチをさせたことはありませんか。外へ出る前に教室でしっかりと指導しておいたのに、子どもたちが教室に持ち帰ってくる観察カードを確認すると……。子どもたちは、事前に学習したことよりも、自分の目の前にいる昆虫などに夢中になり、何を記録したらよかったのか忘れてしまうのでしょうか。そんなとき「もう一度観察してきなさい」というのではなく、観察カードにちょっとした工夫をすることによって、以前とは見違えるぐらいすばらしい観察カードにすることができます。

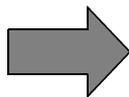
方法

- ① 観察に行く前に、子どもたちに観察対象となる生き物などを知らせる。
- ② 観察対象の生き物をスケッチするときに、どこを観察し、記録すると生き物の姿をよりくわしく伝えることができるか「観察の視点」を考えさせる。<ポイント！>

子どもの発達段階によって、指導者が観察の視点を与える場合もありますが、できる限り子どもたちから観察の視点を引き出すことができると、教室での事前準備と野外での観察が一体となり、それだけ質の高い観察カードができるでしょう。

観察の視点の例

子どもたちが考えた「観察の視点」を動物の場合と植物の場合に整理したもの



☆動物の場合

こん虫など

- ・名前は？
- ・見つけた場所は？
- ・大きさは？
- ・色は？
- ・足の数は？
- ・はねの数は？
- ・なき声は？
- ・手ざわりは？
- ・動き方は？

☆植物の場合

花や草など

- ・名前は？
- ・見つけた場所は？
- ・高さは？
- ・色は？
- ・太さは？
- ・においは？
- ・手ざわりは？
- ・花びらの数は？
- ・もようは？
- ・葉の形は？

- ③ 「観察の視点」が入った観察カードを作成する。
(観察カードの例は次のページ)

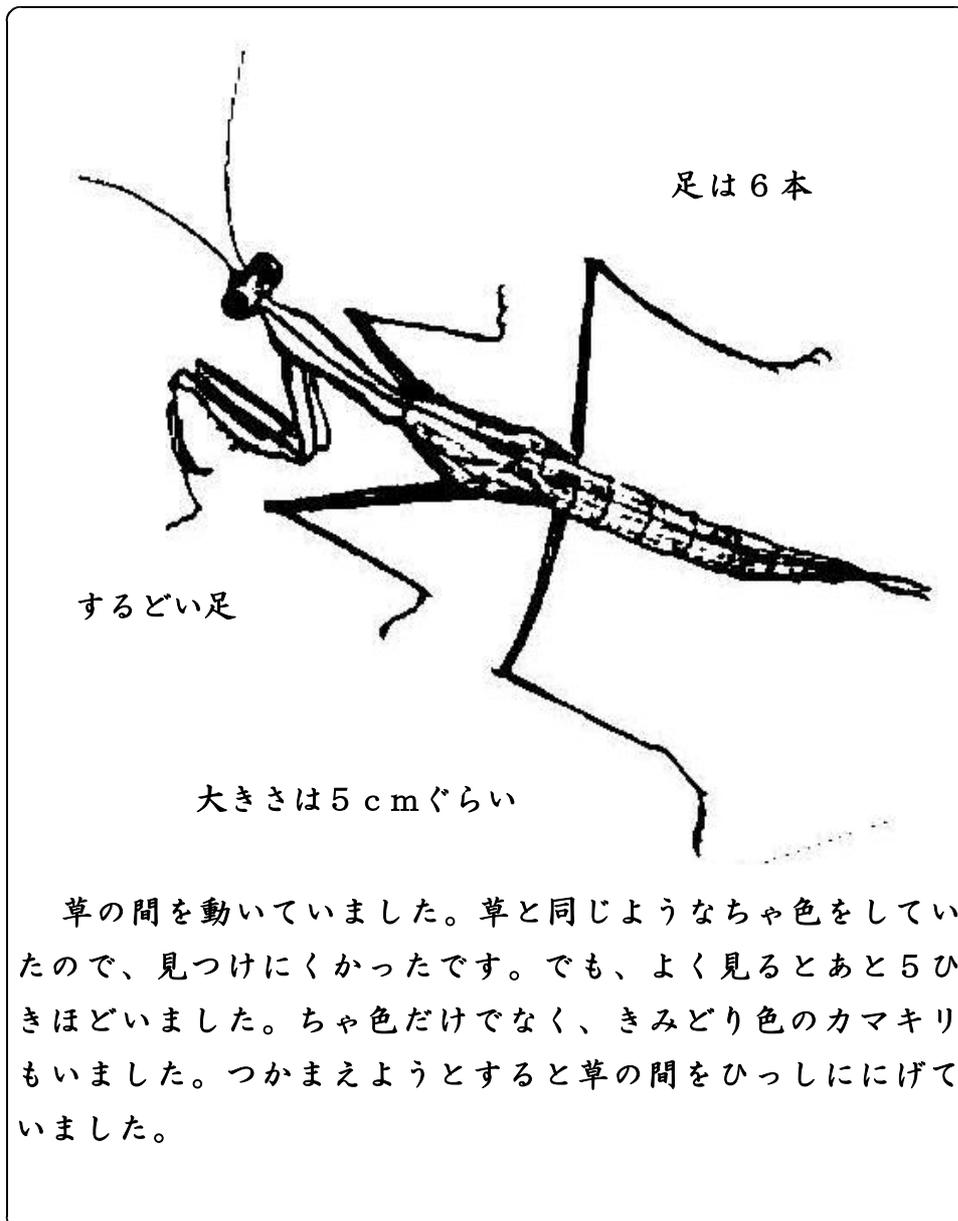
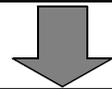
【 カマキリ 】のかんさつ 名前 ()

(6) 月 (24) 日 (火) 曜日 (3) 時間目

かんさつした場所 (運動場 鉄棒の下の草の中)

天気 (晴れ) 気温 (25) °C

観察の 視点



3年1組のみんなで考えた、しっかりとかんさつをするポイント

☆動物の場合 (こん虫など)

- ・大きさは?
- ・色は? ・形は?
- ・なき声は?
- ・手ざわりは?
- ・足の数は?
- ・動き方は?
- ・はねの数は?

☆植物の場合 (花や草など)

- ・高さは?
- ・色は?
- ・太さは?
- ・においは?
- ・手ざわりは?
- ・もようは?
- ・葉の形は?
- ・花びらの数や形は?